昭和五年六月廿六日第三種郵便物認可
昭和六年五月十五日發行

町村新報

發行日　毎月二回十五日卅日
編輯兼印刷發行人　酒井秀吉
發行所　福島縣石城郡磐崎村大字下湯長谷勝善三十八番地　町村新報社
定價　一部金十錢　一ケ月金二拾錢
廣告料　五號活字十二字詰一行金二十錢　別色刷　四十錢

時事漫語

◆

借りたものは貰つた積り、貸したものは呉れたもの、惜金踏み倒しを手柄にする世の中となつた、不景氣になる、金はなくなる、何ともない裡は振れぬと大ビラに恥を恥とも思はぬ不德漢が巾をきかせる、世の中も變れば變るもの、蛤變じて雀となる、生糸の値が馬鹿に安い、桑田變じて何とやら、農村受難貧富一樣手も足も出ない、驚いた亀の子だ。

◆

濱口内閣から引續いて消費節約、表面丈の下らぬ儀禮的贈答を廢し、この苦しい實生活に即した色々な申合せ規約も出來たが、一向に實行を欠いて居る、この方面から見れば、窮乏の程度も聲程でないかも知れない義理と褌をかく樣にならねば、本當に虚禮廢止にはなるまい、然し全然人情味のない世渡りも余りに殺風景ではないか、矢つ張り義理と褌は欠かれぬ處に人間味がある。

◆

朝から晩迄毎日〳〵同じ事を繰返す、只慣れば四時變る、田舍の四方の風景も飽きが來る、芝居も活動も滿足に見られぬ、娯樂の一つもない田園生活、美文に書かれる樣な生活ではない、都會の美に憧憬して家を飛び出すも無理はない、青年女子の離村を責むる前に、彼等は今迄より人生的に見醒めた若者である事を見逃してはならぬ、熱い赤い血液は田舍者の身体にも流れて居る。

◆

小さい自己丈を考へ、全く社界を知らぬ人間は仕末につかぬ、自分を省みる事がない、人間の情味を知らぬ嫉妬や陷穽や非謗やいやな事丈を感じる、可愛い兒には旅をさせろと云ふ、昔の言葉にソッはない、比隣相扶け、相倚りお互ひ生活をする樂しむが第一であ、る强食弱肉、適者生存と自然法は或程度迄は動物の靈長たる人間には少し考へねばならぬ点がある。

◆

一つ叶ひば又一つ、慾に限がない、食ひない時は、麥飯でも甘い、米の飲に飽きれは又一層美味なものが慾しくなる、知足安分は最も必要だ、然し卑屈になつてはならない、過ぎたるは猶及ばざるが如しである、余た点ありとせばそれは技實に焦るのも考へもの、運と果報は寢て待ちろといふ事もある、然し怠情者には稼ぐに追ひつく貧乏なし金のなる木、は働く氣に出來るものである。

馬鹿者日記（四）

丹野生

三月十四日今日は農會かどうせ祿な農會でもない、農會解散運動でもやつてやれ、定刻から二時間も過ぎて十一時頃開會した、昭和四年度決算書朗讀あり書食の爲休憩縣廳の役員か、行政調査に來たと云ふので午后會場を學校に移した、午休に瀧君と箱崎君と俺とて決算の照査をやつた、些の違算もなかつた、午后一時再會、決算書二讀會を濟まして本年度事業計畫に付協議會となつた、議長は來年度は一般財界緊縮方針に基き事業計劃も二割から五割の間で削減し豫算書を編成すべく各位の協讃を得たき旨陳述あつた。俺も元より削減に異存はないが餘り小石だらけの農會だから面白半分に半疊を入れてやつた其半疊はこうた、只農會解散、一くさり解散の理由を述べる本村農會制施行せられて茲に八年、其間當局の指導による農業技術方面には多少啓發する處あるも農家の經濟向上に毫も貢獻して居らぬ、夫れは農會指導其宜しきを得さると會員の利用宜しきを得さるに依ると雖、一昨年指導員廢止依外である、農會の振不振は算は充分に活用されて居らぬ、かくの如き農會は寧解散して幾分にても農家負擔の輕減を圖るに如かすと云ふにある。すると農會長は矢繼早やに答いた、農會は振はぬから解散せよ、無用だから解散せよとは以ての外である、農會の振不振は如何にあるので農會は農會法の定むる處により、畏れ多くも勅令を以て公布せられたもので輕々に解散は出來るものでない、身農會總代にあり乍ら農會不振を云々するならばなぜ振興策を施さぬ、今日の農業農村は可成に進歩して居る、之が進歩は農會の指導宜しきを爲めたと云ふ正に逆ねじと云ふ處、俺も默しては居られぬ、今日多少農業の進歩し た点ありとせばそれは技實方面にあり、農民自身の努力によるものである。其結果果して農家の懐工合がよくなつて居るか、此經濟の不振に就き何か對策施設を持つて居るかとやつた、農會長の答は經濟のことには觸れなかつた、俺の遺憾と思ふ處はそれなんだ、農會長は貧乏を苦にせぬらしい俺の動議は讃成者なく遂に不成立に終つた。

「以下他日」

入社に際して

伊東透眞

登れば降る彼の循環論者は言ふ此の不景氣はもう十年も立てば好景氣が巡つて來ると。

それ迄保て樣か此の不景氣私は思ふ不景氣なのは仕方ない、不景氣は不景氣で幾等不景氣を口にした所で好景氣が今日明日に再來するものではないから不景氣は不景氣で最善の道を取るより外に良策はない、商人は商人に農家は農家に善處すべきである、徒に好景氣の循環を夢見る徒は百年河清を待つ親類ではないだろふか

何事も善處することが大切である、新聞記者は記者として善處する、そこに光明を見出すことが出來ると思ふ。

新聞記者と言ひば朝日か報知は別として廣告屋だとかゴロだとか又は高等乞食だとか惡口を言はれる又言はれる行爲をして來た。

高遠なる理想も使命も打忘れ、黄金の前にひざまつき唯それ低頭のみであつた記者の墮落こそ高等乞食の惡名の起りである。

記者は記者として善處してこそ社會の耳口木鐸と迄言はれたのである。

善處することが大切であると思はれます

世は今や國を擧げて思想上に經濟上に國難來を叫ばれる時町村新報記者として善處する記者を憐み、何分の御教導を賜り度入社に際して幾重にも御願致ます。

六、五、一五

日活。松竹　映畫
映畫殿堂
函座
電話一一〇

梅毒を切らず
注射せず一掃する
ベルツ丸
適應症
梅毒。瘡毒。胎毒
梅毒性横げん。腦梅毒
リユウマチス。下疳
せきずゐろう。遺傳性梅毒
梅毒性皮膚病
尚本藥の最も特長は恐るべき動脈硬化症（血管のかたくなる病）老衰の素因である、中風、ちうき、卒中、萎縮、腎臟炎の人は本藥の服用に依りて必ず治療の目的を達す、
卸小賣商
精製コールタール
一般計量器
消毒用藥品
岩瀬屋藥舗
湯本町石畑

社告

伊東透眞

右者本社記者トシテ入社致シマシタ宜シク御指導御援助ノ程ヲ切ニ御願致シマス

町村新報社